

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	日野町家庭教育支援チーム (呼称:すくすくひのっこ支援チーム)
②活動拠点	日野町立日野学園 日野町教育委員会事務局
③活動範囲	鳥取県日野郡日野町
④組織体制	13 人 民生委員・児童委員2名、学校教員1名、子育て支援員2名、保育所1名、 スクールソーシャルワーカー1名、地域学校協働活動推進員1名、 健康福祉課2名、教育委員会3名
⑤活動開始年度	令和4年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 日野町教育委員会事務局教育課家庭教育支援担当 (TEL)0859-72-2107 (E-mail) kyouiku@town.hino.tottori.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☐ 保護者等への学びの場の提供 ☐ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☒自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ・家庭訪問の実施 アウトリーチ型家庭教育支援をメインに活動を行う。 家庭教育支援チームで担当を持ち、それぞれが各家庭を訪問する。 訪問するうえで、チーム員は就学前の不安や就学後で困っていることなどニーズ調査を行い、関係各所へ情報共有する。(学校、行政、保育所等) ・広報紙の作成 各家庭にチラシを配布し、家庭教育支援チームを認知してもらう。 ・活動頻度 令和6年度は、家庭訪問を年3回行い、情報共有などを協議した。 家庭訪問先についてはチーム内で相談し決定した。 (就学に向けての年長児、入学後の1・2年生、登校に不安な児童が多い3・4年生、受験に向けて学習を充実させるための9年生) ・入学後の児童がいる家庭についても、家庭訪問を行い、保護者の悩みを聞いている。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	○家庭訪問を通して、保護者が日頃感じている児童生徒に対する悩み等を伺うことができた。3年間の活動で、チームによる取り組みは、保護者世代に浸透しつつあり、顔の見える関係が構築されている。 今後の活動として、まだ訪問していない家庭とのつながりを作ったり、訪問を行った家庭とのつながりをさらに深めたりしていく必要があると考える。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:地域と学校の連携・協働体制構築事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()